

熱海市教育振興基本計画 後期基本計画（教育大綱）（平成 28 年度～平成 31 年度）の進捗状況

1. 国等の年次計画

	2013 年度 (H25 年度)	2014 年度 (H26 年度)	2015 年度 (H27 年度)	2016 年度 (H28 年度)	2017 年度 (H29 年度)	2018 年度 (H30 年度)	2019 年度 (H31 年度)
国	← 第 2 期 教 育 振 興 基 本 計 画 →					第 3 期 計 画 →	
静岡県	← 第 2 期 静 岡 県 教 育 振 興 基 本 計 画 →					第 3 期 静 岡 県 教 育 振 興 基 本 計 画 →	
熱海市	～ 2 0 1 0 年 度 (H 2 2 年 度) 前 期 基 本 計 画 →			← 後 期 基 本 計 画 →			

2. 第四次熱海市総合計画

	2013 年度 (H25 年度)	2014 年度 (H26 年度)	2015 年度 (H27 年度)	2016 年度 (H28 年度)	2017 年度 (H29 年度)	2018 年度 (H30 年度)	2019 年度 (H31 年度)
基本構想	～ 2 0 1 1 年 度 (H 2 3 年 度) ～			2 0 2 0 年 度 (H 3 2 年 度) ～			
前期計画	～ 2 0 1 1 年 度 (H 2 3 年 度) →			-			
後期計画	-			→ 2 0 2 0 年 度 (H 3 2 年 度) ～			

3. 熱海市教育振興基本計画（平成 22 年度～平成 31 年度）

1) 背景

- ① 人口減少社会と少子・超高齢化の進展
- ② 社会経済のグローバル化の進展や地球環境問題の深刻化
- ③ 産業構造の変化やライフスタイルの多様化
- ④ 家庭・地域社会の変化
- ⑤ 教員の大幅な世代交代
- ⑥ 教育諸制度の改定
- ⑦ 厳しい財政状況下での教育行政等のあり方

2) 課題（後期）

- ① 魅力ある授業の推進と学力の向上
 - ・言語活動ほか、様々な分野での取り組み、ICT にかかる情報モラル、指導力の向上
- ② 熱海らしい特色ある教育の推進
 - ・グローバル化に対応した外国語活動など国際温泉観光文化都市の市民としての成長

③ 楽しい学校の推進

- ・不登校、いじめ、児童虐待の予防、発見等の取り組みと的確で素早い対応の必要性

④ 特別支援教育の充実

- ・学習支援員の配置、通級指導教室等の充実

⑤ 幼稚園教育・保育の充実

- ・幼保連携型認定こども園の開設

⑥ 教員の資質・指導力、学校の組織力の向上

- ・継続的な資質、能力の向上と学校事務の改善等

⑦ 教育委員会制度の充実と教育環境の整備

- ・教育委員会と市長部局との連携による教育行政の運営体制の構築と学校施設環境

⑧ 情報発信する学校

- ・学校便り、ホームページ等による情報発信力の強化

⑨ 家庭・地域・学校の連携と学校運営の協働・参画

- ・家庭での教育力向上支援や地域と学校との連携強化

⑩ 生涯学習の振興

- ・民間事業者、大学等との連携強化や市民教室や図書館の充実

3) 計画目標と実績・成果

① 教育の方向性

I 【生きる力を育み、将来の熱海を担う人材を育成する】

II 【家庭・地域・学校の連携を充実させ、社会全体での教育の向上に取り組む】

III 【循環型生涯学習社会を構築する】

② 計画目標と実績、評価

計画目標	実績・成果
<p><目標1「子どもの力を伸ばします」></p>	<p>全般にわたり、各年度の状況に応じた施策の展開により、総合的には中上位の成果が得られている。主なものとしては、言語活動やALTの派遣拡充などにより全国学力、学習調査の結果等に改善が見られた。また、学習支援員等の拡充による、特別支援教育の充実や認定こども園の開設に向け、幼稚園教諭と保育士との人事交流や研修の実施により、幼児教育の充実が図られた。</p>
<p>(1) 魅力ある授業の推進と学力の向上</p> <p>1 魅力ある授業づくりの推進</p> <p>2 国語力の育成・言語活動の充実</p> <p>3 理数教育・情報教育の推進</p> <p>4 キャリア教育の推進</p>	<p>各校の独自の工夫や全体研修の実施、さらには、情報機器等ICTの活用などにより、全国学力、学習調査の結果等に改善が見られた。</p> <p>【主な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学力向上対策（夏季研修会） ・複式学級解消のための支援員配置（4→6名） ・土曜日学習支援事業（南熱海、中央、泉地区） ・英語教材作成システムLEAD導入（平成27年度） ・外国人英語指導（ALT5名→7名）
<p>(2) 熱海らしい特色のある教育の推進</p> <p>5 魅力ある学校づくりの推進</p> <p>6 幼・保・小・中・高連携をつなぐ連携教育の推進</p> <p>7 幼保小中一貫教育の推進</p> <p>8 国際理解・多文化共生教育と国際交流の推進</p> <p>9 熱海の豊かな自然環境を活かした環境教育と体験学習の推進</p>	<p>各学校区を基本に、公開授業や異校種参観、人事交流など幼・保・小・中連携が進められ、幼稚園、保育園へのALTの派遣や文化交流施策との連動により、国際交流や地域の伝統文化にかかる教育の推進が図られた。</p> <p>【主な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校外部講師による夢先生事業 ・離島高校生就学支援費補助 ・中学校区を中心とした保、幼、小、中連携 ・中学校部活動補助
<p>(3) 楽しい学校の展開</p> <p>11 心の教育の推進</p> <p>12 人権教育の推進</p> <p>13 健康・体力向上の実施</p> <p>14 いじめ・不登校対策等の充実</p> <p>15 安全教育の推進</p> <p>16 部活動の充実</p>	<p>道徳の教科化にともない、人権等の教育の推進が図られた。また、体力向上については、小学校におけるコンテストの実施や中学校での部活動補助などの側面的な施策により、体力テストや各種大会における成績向上につながってきた。</p> <p>いじめ対策に関しては、専門の協議会の設置や対策に向けた基本方針の策定により取り組みを進めてきた。</p> <p>【主な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題専門委員会等の設置 ・中学校部活動補助

計画目標	実績・成果
<p>(4) 特別支援教育の充実</p> <p>17 特別支援教育の充実</p>	<p>学習支援員の増員や通級指導教室等の充実を図り、発達障害等児童生徒に対する支援に取り組んできた。また、就学前児童に対しても、療育施設等の整備を行ってきた。</p> <p>【主な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援員の配置（中学 3～1 名、小学 18～21 名） ・幼稚園（10 名）、保育園（15 名）特別支援指導員配置
<p>(5) 幼児教育・保育の充実</p> <p>18 幼児教育・保育の充実</p> <p>19 幼稚園・保育園の連携推進</p>	<p>各種研修会の実施や幼稚園教諭と保育士の人事交流、さらには、幼保合同園長会の開催や幼稚園体験交流等により連携強化とともに幼児教育の推進を図ってきた。</p> <p>【主な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人英語指導（ALT5 名→7 名）実施 ・幼保職員の人事交流、人事異動 ・地方裁量型認定こども園開設（MOA あたみ幼児学園） ・幼保連携型認定こども園設置に向けた検討

計画目標	実績・成果
<p><目標 2 「学校・教職員の力を高めます」></p>	<p>各種研修の実施や教師塾等の実施による拡充を図り、教師の積極的、自主的な参加を進めてきた。また、教師の多忙化等の対応のための事務改善では、校務支援システムの導入と活用を進めてきた。</p> <p>教育委員会制度では、市長部局との連携強化のため、総合教育会議を通じた協議を行い、教育行政の諸課題について、その解決に向けた取り組みを行った。</p> <p>学校等施設については、各施設の老朽化等に対応した、計画的な修繕により改善を図っているところである。</p>
<p>(6) 教職員の資質・指導力、学校の組織力の向上</p> <p>20 魅力ある教員の養成</p> <p>21 学校の組織力の向上</p> <p>22 学校事務改善の推進</p>	<p>静岡県主催研修のほか、教育委員会が主催する各種研修の充実が図られ、さらには、ATAMI 教師塾の新設により受講者の増加とともに質的な充実が図られた。</p> <p>【主な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時学校事務職員の配置 ・ATAMI 教師塾の開設 ・校務支援システム
<p>(7) 教育委員会制度の充実と教育環境の整備</p> <p>23 教育委員会制度の充実</p> <p>24 安全・安心な学校づくり</p> <p>25 学校施設の適正規模・適正配置</p>	<p>上期下期における総合教育会議の開催により、教育行政に関する課題への取り組みを進めてきた。</p> <p>学校等施設修繕計画の策定により、緊急性、重要性に応じて大規模修繕等が着実に実施された。</p> <p>【主な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合教育会議の設置 ・学校施設等施設修繕計画の策定 ・多賀幼稚園、上多賀幼稚園の統合 ・学校等施設大規模修繕 ・幼保連携型認定こども園設計、改修事業

計画目標	実績・成果
<p><目標3「みんなで子どもの未来を応援します」></p>	<p>各学校における行事等の告知等について、学校通信やホームページを活用し、学校運営への理解等により運営改善が図られた。また、地域、関係者等との検討会を通じて連携強化を図ってきている。さらに、児童福祉関係機関との連携により、家庭教育等の支援を展開した。</p>
<p>(8) 情報発信する学校</p> <p>26 学校からの情報発信の充実</p> <p>27 学校評価制度の充実</p>	<p>学校通信やホームページの活用により、学校活動の状況を広報することにより、学校運営に対する理解が得られた。</p> <p>【主な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校ホームページの開設 ・学校通信の町内会等への配布
<p>(9) 家庭・地域・学校の連携と学校運営への協働・参画</p> <p>28 家庭教育支援の充実</p> <p>29 地域ぐるみの子どもの育成</p> <p>30 PTA 活動との連携と支援</p> <p>31 NPO 等との連携拡大</p>	<p>児童福祉関係機関及び家庭教育支援員、社会教育指導員等との連携強化により、家庭支援教育体制の充実が図られた。</p> <p>【主な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係検討会の定例実施 ・網代小学校放課後学習会の実施

<目標4「生涯学習の振興」>

生涯学習の意識醸成や参加活性を図るため、生涯学習のしおりや人材バンク等の告知を積極的に行ってきた。

社会教育については、社会教育委員の活動により、子どもに対する事業が継続して実施された。また、公民館事業では、寺子屋事業の実施により各地域で特色のある体験学習が行われた。

文化振興の面では、無形民俗文化財等の伝統文化の継承とともに、江戸城石垣石丁場の保存事業や旧日向別邸の改修工事等に着手した。

図書館の充実を図るため、システムの更新にあわせて電子書籍の導入など、また、図書館協議会の設置などにより、利用者の利便性や親しみやすい図書館づくりを進めてきた。

(10) 生涯学習の振興

- 32 市民自らが学べる生涯学習環境づくり
- 33 生涯学習の成果を社会に還元するしくみづくり
- 34 公民館等を活用した生涯学習の推進
- 35 誰からも親しまれる魅力ある図書館づくり
- 36 熱海市男女共同参画推進計画に基づく学習社会づくり
- 37 青少年健全育成活動の推進
- 38 スポーツの振興
- 39 文化財や伝統文化等の保存・継承

生涯学習の意識醸成や参加活性を図るため、生涯学習のしおりや人材バンク等の告知を積極的に行ってきた。

社会教育については、社会教育委員の活動により、子どもに対する事業が継続して実施された。また、公民館事業では、寺子屋事業の実施により各地域で特色のある体験学習が行われた。

文化振興の面では、無形民俗文化財等の伝統文化の継承とともに、江戸城石垣石丁場の保存事業や旧日向別邸の改修工事等に着手した。

図書館の充実を図るため、システムの更新にあわせて電子書籍の導入など、また、図書館協議会の設置などにより、利用者の利便性や親しみやすい図書館づくりを進めてきた。(以上、再掲)

【主な施策】

- ・人材バンク登録による各種教室等の拡充
- ・公民館寺子屋事業の拡充
- ・姫の沢自然の家の方向性の検討
- ・江戸城石垣石丁場の保存整備事業
- ・旧日向別邸改修事業
- ・中学生海外研修の実施
- ・市制施行記念事業「熱海温泉誌」刊行
- ・図書館協議会の設置
- ・古絵図、古地図等の電子化と公開
- ・郷土資料の翻刻、仕分け作業の実施